

徒然想

毎年、早すぎる年末到来に驚き、懲りもせず慌ただしくしております。さて、恒例の今年の漢字は「新」と発表されました。なるほど、納得いたしました。皆様ご自身の一文字はいかがでしょうか？一文字どころじゃ収まらない、という方もいらっしゃるかもしれませんが、あえて一文字にしてみるのも面白いものです。しかし、私にとっての一文字は何だろうと考えてみますと、やはり迷って決めかねます。それならば、本レポートを読んで頂いている方に感謝の気持ちを込めて綴っております徒然想から、僭越ながら「想」という文字を選ぶ事ができれば嬉しく思います。皆様方にとっても、弊社にとっても、来年はもっと良い年になるというイメージを抱きながら今年のレポートを締めくりたいと思います。本年も、大変お世話になりました。どうか、引き続きご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

TECHNICAL TOPICS KRCの技術情報はこちら

国際学会活動のご紹介—第22回 CIPA 国際シンポジウム 2009—

2009年10月11日から15日にかけて、[第22回 CIPA 国際シンポジウム 2009](#)が日本写真測量学会秋季大会と併催のかたちで、京都(京都テルサ)で開催されました。本シンポジウムがアジアで開催されるのは今回が初めてで、世界的不況にもかかわらず、世界の26カ国から約200名の研究者と実務者が参加し、文化遺産の記録、保存、活用に関する技術を中心に盛んな議論と交流が行なわれました(口頭発表:64編、ポスター発表:56篇)。これまでほとんどヨーロッパで開催されることが多く、参加者もヨーロッパの研究者と実務者が多数を占めていましたが、今回は日本における開催ということで、特にアジアから多数の参加がありました。また、論文発表と並行して開催された企業展示には18社におよぶ企業が出展し、シンポジウム参加者に対して文化遺産の記録、保存、活用に関する最新の技術、サービスなどの紹介が熱心に行なわれました。

当社は、「[System for Assisting in the Restoration of Stone Walls, Using 3D Modeling](#)」と題し、[皇居東御苑内本丸中之門石垣修復支援システムの開発・構築](#)について発表を行いました。石垣修復支援システムとは、石垣修復工事における、3Dレーザ等の三次元計測技術を用いた半自動の石垣配置シミュレーションシステムです。また、同論文は、今年7月1日から3日にかけて、オーストリアのウィーンで開催された「9th conference on "Optical 3-D Measurement Techniques"」でも発表を行っています。

次回の第23回 CIPA 国際シンポジウムは、2011年9月12日から16日にかけて、チェコのプラハで開催の予定です。なお、第22回の発表論文は、CIPA のウェブサイト(<http://cipa.icomos.org/index.php?id=405>)からダウンロード可能となっています。

【ウェブ版はこちら: <http://www.krcnet.co.jp/topics/topics45.html>】

★第13回「[地理空間情報イブニング・セミナー](#)」(日本測量協会主催)において当社の西村正三が講師を務めます。

日時:平成22年1月19日(火) 16時～

内容:「顧客満足度を高める3次元計測の成果—分かりやすく伝えるためのデータの処理・解釈のしかたについて考える—」

関連ウェブサイト: <http://www.jsurvey.jp/k-academy20110119.pdf>

(株)計測リサーチコンサルタントへのお問い合わせは、

電子メール: krc@krcnet.co.jp HP: <http://www.krcnet.co.jp/contact/contact.htm> で承っております。



CIPA2009 での発表風景



Optical 3-D での発表風景